

「大山中学校 メディア利用ルール」があるのをご存知ですか？これは、生徒が自分たち自身のテレビの視聴やスマートフォン・タブレット等の使用について設定したものです。インターネット機器の利用や SNS 利用は中学生から急激に増えています。（下のグラフ参照）中学校への進学を契機に持たせる家庭が多いことがうかがえます。「持たせる」「持たせない」はご家庭の判断です。学校としても「持たせる」が悪いことだとは思っていません。問題は使い方です。だからこそ、生徒が自分たちで考えたルールが存在します。どの中学校でも同じように「利用に関するルール」が決められていますが、なかなか守られずトラブルに発展し、その対応に苦慮している状況もあるようです。幸いにも私が知る大山中学校の 2 年間はトラブルに発展した事例はありません。スマートフォン・タブレット等を持たせている場合は、「使い方によって、トラブルに巻き込まれる可能性がある」という認識を持っていただき、ペアレンタルコントロールの義務があることをご理解ください。

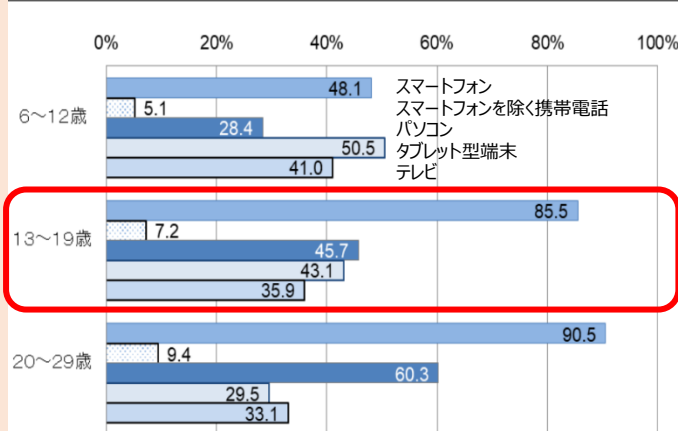
※ペアレンタルコントロールとは、お子さんが持つスマートフォン等の利用方法を保護者が管理する機能をいいます。

例：利用時間の制限・不適切なサイト等の閲覧制限・アプリのダウンロード制限

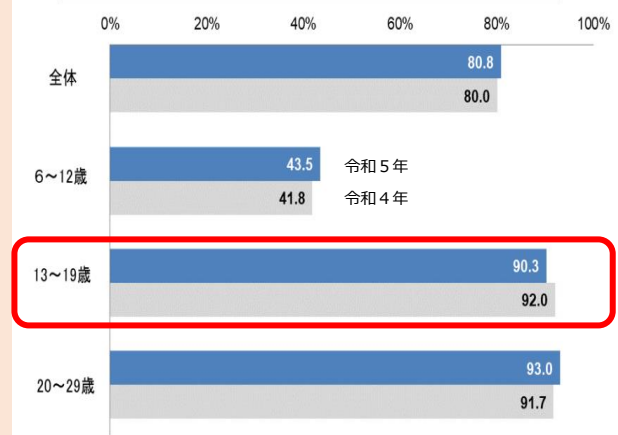
学校でも「スマホ安全教室」等を行い、注意喚起や指導を行います。お子さまの SNS 等の利用の責任は、ご家庭です。トラブルが生じた場合は、「学校としてできること」での対応や協力はしますが、原則は、ご家庭で解決するか、警察を含めた関係機関に相談することとしています。

「自分や仲間の日常生活を守るために」と生徒が主体となって作った「大山中学校 メディア利用ルール」です。各家庭で利用ルールのご指導をお願いします。【メディアルールは学校 HP に掲載しています】

年齢階層別インターネット利用機器の状況



SNSの利用状況



総務省 令和 5 年通信利用動向調査結果からの抜粋（詳しい情報を知りたい方は「通信利用動向調査」で検索してください）



下校時の安全対策として反射タスキを 7 年生全員に配りました。徒歩や自転車で下校する生徒はもちろんですが、バスで下校する生徒も降車後、自宅までの徒歩区間の着用を呼びかけます。ぜひ、家庭でもご指導ください。

なお、このタスキは「大分県交通安全協会 日田支部」から提供して頂いているもので、運転免許更新時に任意で加入する协会会员からの会費で賄われているそうです。

4 月 2 1 日 (月) 町内の菅原サイクルさんが学校を訪れ、通学用自転車 19 台を点検してくれました。以前は自転車業組合が市内の中学・高校で点検を行っていましたが、販売店の減少に伴い、数年前から学校に出向いての点検は行われなくなりました。菅原さんは「地元の子どもが乗る自転車で事故があってはいけない」と点検を行ってくれています。今回、行っていただいたのは、点検ですので、不備があった箇所については、ご家庭で修理をするか自転車屋さんへ修理を依頼してください。地域の方に支えられていることが実感できるありがたい出来事でした。

